

発達障害児のためのサポートツール・新規作成「私の部屋」「ついたて」「棚」

2011年3月31日
NPO法人全国LD親の会

通級指導教室でのニーズに合わせて作成することができる段ボール素材の教具を作成し、下記会場にて展示した。作成に当たっては、通級の指導現場からの使いやすいサイズやニーズを参考にした。

- 1、日本LD学会第19回大会会場での展示
日時：2010年10月9日（土）・10日（日）・11日（月・祝）
会場：愛知県立大学 南棟・B棟1階 B110
- 2、JDDネット第6回年次大会会場での展示
日時：2010年12月5日（日）
会場：神戸国際会議場 地下1階 リハーサル室

●私の部屋

自分をコントロールするためのトレーニングの第1歩として、気持ちを落ち着かせるカームダウンできる場所を作ることが必要とされている。子どもが中にこもることができる「私の部屋」を作成した。

屋根の部分は、何かあった場合にすぐ開閉ができるよう、クリップで留めただけの構造になっている。

大 W1200×W600×H1300

安全性が確認できるように、上を開けたタイプ



小 W600×W600×H1300



●ついたて
小 W900×H1160



116cm という高さは、座っている子どもには、隣が見えない高さであり、立って指導している教員にとっては、両側の子どもの見える事ができるという高さに設定した。

大 W900×H1700

高さのあるパーティションでも、段ボール素材で軽い為、倒れた場合の心配が少ない。

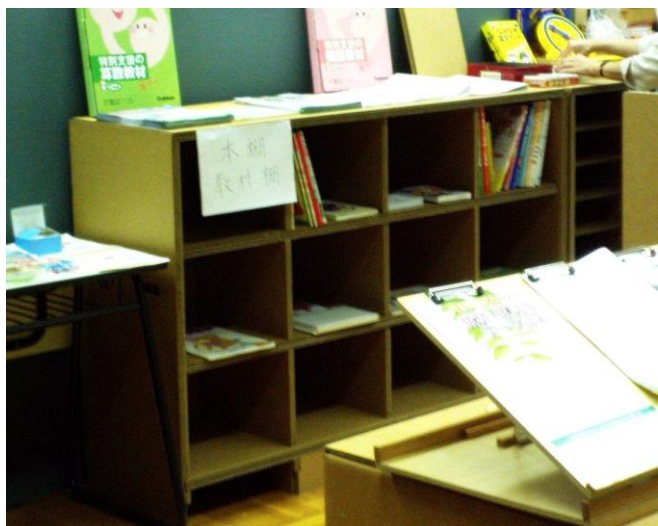


●課題棚 W1194×D450×H997

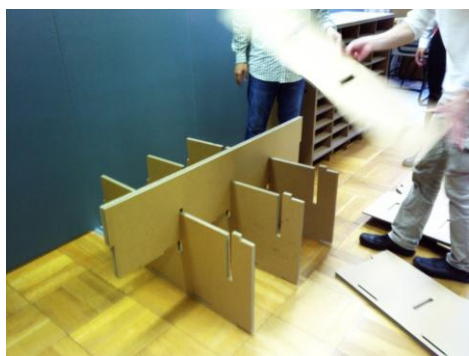


B4の課題プリントを仕分けて収納できる棚

- ロッカー W1444×D450×H997
棚の高さが変えて作成したロッカー



ロッカーの組み立て過程



展示の方法:LD学会会場では、「ことばの教室」のようにレイアウトして、サポートツールを展示した。

